

独立行政法人日本原子力研究開発機構東海研究
開発センター原子力科学研究所の原子炉設置変
更〔STACY（定常臨界実験装置）施設及び
TRACY（過渡臨界実験装置）施設の変更〕の概
要について

平成 1 9 年 1 1 月
文 部 科 学 省

1. 申請の概要

(1) 申請者

独立行政法人日本原子力研究開発機構

理事長 岡崎 俊雄

(2) 事業所名及び所在地

独立行政法人日本原子力研究開発機構 東海研究開発センター原子力科学研究所

茨城県那珂郡東海村白方白根 2 番地の 4

(図－1 参照)

(3) 原子炉の型式及び熱出力

① STACY

型式 ウラン・プルトニウム燃料タンク型 (定出力型)

熱出力 200 W

② TRACY

型式 ウラン溶液燃料タンク型 (定出力・過渡出力両用型)

熱出力 定出力運転時 10 kW

過渡出力運転時 5,000 MW

(4) 申請年月日

平成 19 年 11 月 5 日申請

(5) 変更項目

ウラン酸化物燃料をU保管室で貯蔵するため、ウラン酸化物燃料貯蔵設備を追加する。(図－2) 参照

併せて、独立行政法人日本原子力研究開発機構の発足に伴い、組織名称等を変更する。

(6) 工事計画

本変更に係る工事計画は以下のとおりである。

平成 (年度)	19			
	I	II	III	IV
項 目				設置
ウラン酸化物燃料貯蔵設備の設置				<input type="checkbox"/>

(7) 変更の工事に要する資金の額及び調達計画

本変更に係るウラン酸化物燃料貯蔵設備の設置に伴う工事に要する資金は、約 6 百万円である。

これらの工事に要する資金は、独立行政法人日本原子力研究開発機構の運営費交付金により充当する計画である。

2. 変更の概要

STACY 施設及び TRACY 施設で一時保管されているペレット状のウラン酸化物燃料を貯蔵設備での貯蔵に変更するため、U保管室にウラン酸化物燃料貯蔵設備を設ける。

また、今回の変更に併せて、独立行政法人日本原子力研究開発機構の発足に伴い、組織の名称等を変更する。

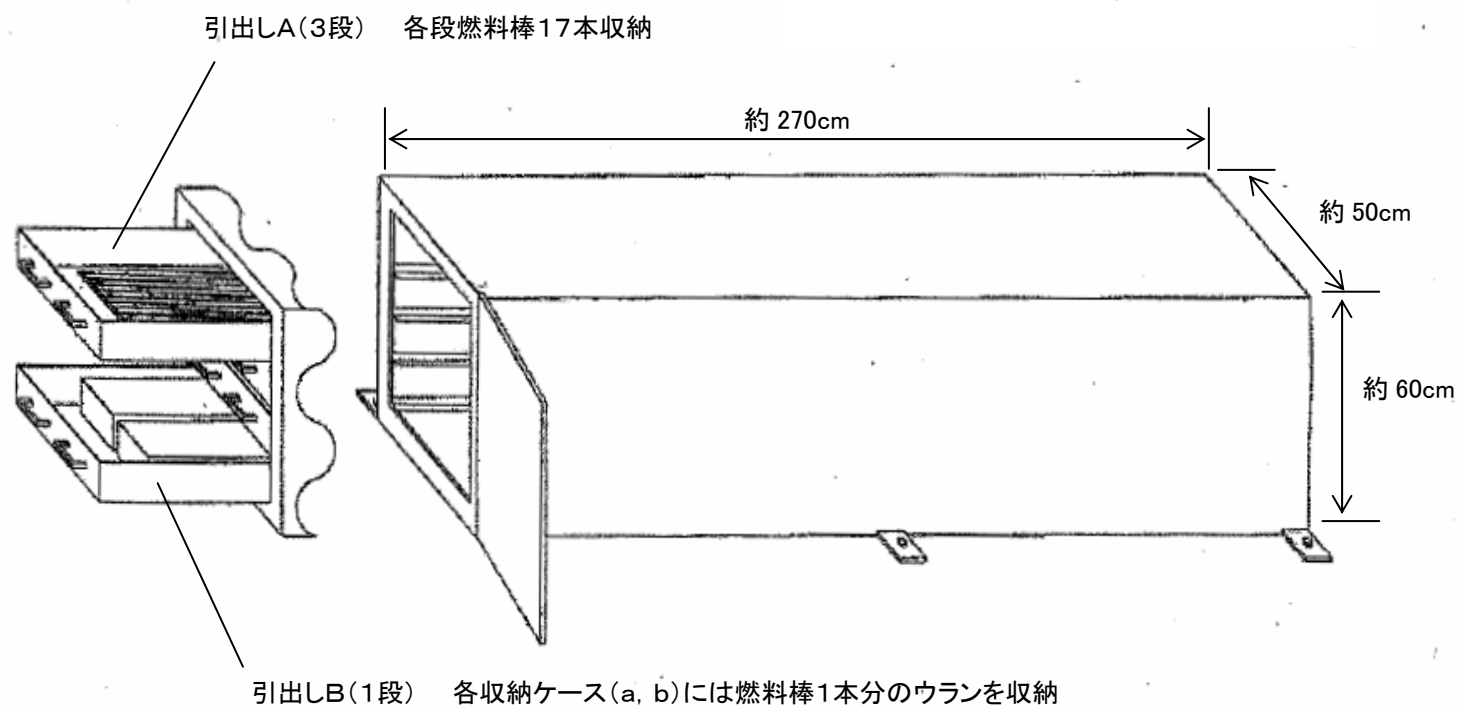


図-2 ウラン酸化物燃料貯蔵設備概略図